

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年4月27日

東・名

上場会社名 愛三工業株式会社

上場取引所

コード番号 7283

URL <https://www.aisan-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野村 得之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 猪飼 英人

(TEL) 0562-47-1131

定時株主総会開催予定日 2022年6月14日

配当支払開始予定日

2022年5月30日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月14日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	193,751	6.8	9,809	97.9	10,255	105.7	6,831	93.7
2021年3月期	181,427	△11.7	4,956	△31.4	4,986	△27.4	3,525	—
(注) 包括利益	2022年3月期		15,265百万円(151.2%)		2021年3月期		6,076百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	108.40	108.34	7.5	5.2	5.1
2021年3月期	55.97	—	4.3	2.7	2.7
(参考) 持分法投資損益	2022年3月期	—百万円	2021年3月期	—百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	201,936	100,889	48.0	1,539.63
2021年3月期	189,918	87,773	44.3	1,336.78
(参考) 自己資本	2022年3月期	96,944百万円	2021年3月期	84,206百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	13,544	△6,955	△4,128	48,750
2021年3月期	17,761	△6,785	△1,176	44,369

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00	1,133	32.2	1.4
2022年3月期	—	15.00	—	14.00	29.00	1,827	26.8	2.0
2023年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		27.0	

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,000	5.5	5,000	△2.0	5,000	△8.3	3,300	△17.9	52.41
通期	210,000	8.4	10,500	7.0	10,500	2.4	7,000	2.5	111.17

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P13「会計方針の変更」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	63,073,379株	2021年3月期	63,018,396株
② 期末自己株式数	2022年3月期	106,908株	2021年3月期	26,726株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	63,017,883株	2021年3月期	62,991,804株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	80,996	△2.6	1,080	293.3	6,878	136.9	6,129	124.4
2021年3月期	83,138	△11.2	274	△23.3	2,904	△23.6	2,731	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期	97.27		97.22					
2021年3月期	43.37		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年3月期	135,423		63,073		46.5		999.99	
2021年3月期	127,840		58,457		45.6		925.62	

(参考) 自己資本 2022年3月期 62,965百万円 2021年3月期 58,306百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2022年4月27日の決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の日本および世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種拡大などにより、全体として回復傾向にありました。

自動車業界においても自動車生産台数の回復が見られた一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体の供給不足、物流の混乱、原材料の高騰などの影響により先行き不透明な状況が継続しています。

このようななか、当連結会計年度の業績としましては、売上高は193,751百万円と前期に比べて6.8%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は9,809百万円と前期に比べて97.9%の増益、経常利益は10,255百万円と2.1倍の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は6,831百万円と前期に比べて93.7%の増益となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高が4,745百万円減少しております。

地域別の業績は次のとおりであります。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

[日本]

売上高は、販売量は増加したものの収益認識会計基準等の適用により88,550百万円（前年同期比1.7%減）となりましたが、営業利益は1,838百万円（前年同期比3.0倍）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高が4,745百万円減少しております。

[アジア]

売上高は、販売量の増加により87,851百万円（前年同期比16.3%増）となり、営業利益は6,195百万円（前年同期比2.2倍）となりました

[米州]

売上高は、販売量の増加により25,439百万円（前年同期比11.7%増）となり、営業利益は1,311百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

[欧州]

売上高は、販売量の増加により11,461百万円（前年同期比13.3%増）となり、営業利益は354百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

今後の見通しとしましては、依然として続く新型コロナウイルス感染症の地域的な流行、原材料の高騰に加え、ロシア・ウクライナ問題をはじめとする地政学リスクの高まりにより、引き続き世界経済の先行きが不透明な状況にあります。

自動車業界においては半導体不足などによる自動車生産への影響が懸念されるものの、販売量の増加による増収が期待されます。また、原材料・物流費の高騰などによる業績への影響はありますが、改善活動を更に進めていくことで収益性を高めてまいります。

このような状況のなか、当社グループの次期業績予想は以下のとおりです。

・売上高	2,100億円
・営業利益	105億円
・経常利益	105億円
・親会社株主に帰属する当期純利益	70億円

（前提為替レート：1 U S ドル115円）

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金の増加などにより前連結会計年度末に比べ12,017百万円増加し、201,936百万円となりました。

負債は、借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ1,098百万円減少し、101,046百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金および為替換算調整勘定の増加などにより前連結会計年度末に比べ13,116百万円増加し、100,889百万円となりました。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、48,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,381百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益および減価償却費により13,544百万円の収入となりました。前年同期に比べ4,217百万円の収入減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得により6,955百万円の支出となりました。前年同期に比べ169百万円の支出増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に返済による借入金の減少および配当金の支払いなどにより4,128百万円の支出となりました。前年同期に比べ2,952百万円の支出増加となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な配当の継続と、連結業績および連結配当性向等を総合的に勘案して、株主の皆様のご期待におこたえしていきたいと考えております。内部留保につきましては、企業体質の一層の強化ならびに今後の事業展開に役立てたいと考えております。

当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり14円（前年同期比3円増）とし、中間配当金15円（前年同期比8円増）とあわせて年間29円（前期比11円増）となりました。

また、次期の配当につきましては、1株当たり30円（年間）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは将来のIFRS適用に備え、グループ内の経理基盤強化や基準の整備およびその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,845	45,602
受取手形及び売掛金	25,882	26,201
電子記録債権	3,943	4,031
有価証券	1,484	4,484
商品及び製品	6,713	7,762
仕掛品	3,347	4,126
原材料及び貯蔵品	11,679	15,616
その他	5,209	4,380
貸倒引当金	△28	△33
流動資産合計	103,078	112,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,935	56,014
減価償却累計額	△34,256	△36,136
建物及び構築物（純額）	18,679	19,877
機械装置及び運搬具	143,766	151,800
減価償却累計額	△114,088	△121,179
機械装置及び運搬具（純額）	29,677	30,620
土地	6,994	7,065
建設仮勘定	4,364	3,208
その他	29,946	32,295
減価償却累計額	△25,640	△28,087
その他（純額）	4,305	4,207
有形固定資産合計	64,022	64,980
無形固定資産	1,029	899
投資その他の資産		
投資有価証券	5,525	5,799
退職給付に係る資産	8,380	11,762
繰延税金資産	7,042	5,350
その他	886	1,019
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	21,787	23,883
固定資産合計	86,839	89,763
資産合計	189,918	201,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,508	21,432
電子記録債務	2,222	3,054
短期借入金	7,448	3,845
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	6,370	2,339
未払費用	8,052	8,430
未払法人税等	734	879
製品保証引当金	1,940	2,124
役員賞与引当金	79	84
事業構造改善引当金	294	250
その他	5,062	4,852
流動負債合計	53,714	57,293
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	19,733	25,918
繰延税金負債	1,568	1,436
役員退職慰労引当金	67	69
退職給付に係る負債	16,213	15,430
その他	848	899
固定負債合計	48,430	43,752
負債合計	102,144	101,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,684	10,708
資本剰余金	12,643	12,667
利益剰余金	62,088	67,281
自己株式	△25	△84
株主資本合計	85,391	90,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885	3,070
為替換算調整勘定	△5,339	237
退職給付に係る調整累計額	1,268	3,063
その他の包括利益累計額合計	△1,185	6,371
新株予約権	151	107
非支配株主持分	3,415	3,836
純資産合計	87,773	100,889
負債純資産合計	189,918	201,936

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	181,427	193,751
売上原価	160,964	168,824
売上総利益	20,462	24,927
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,846	1,239
給料及び手当	5,746	6,135
福利厚生費	1,514	1,604
役員賞与引当金繰入額	98	85
退職給付費用	206	154
役員退職慰労引当金繰入額	17	18
製品保証引当金繰入額	212	268
その他	5,863	5,611
販売費及び一般管理費合計	15,506	15,117
営業利益	4,956	9,809
営業外収益		
受取利息	223	259
受取配当金	114	121
有価証券売却益	—	8
為替差益	6	694
その他	719	210
営業外収益合計	1,064	1,293
営業外費用		
支払利息	264	202
固定資産除売却損	430	328
関係会社出資金売却損	293	—
関係会社清算損	—	207
その他	45	110
営業外費用合計	1,034	847
経常利益	4,986	10,255
特別利益		
新株予約権戻入益	36	44
特別利益合計	36	44
税金等調整前当期純利益	5,023	10,299
法人税、住民税及び事業税	1,512	2,372
法人税等調整額	△239	555
法人税等合計	1,273	2,927
当期純利益	3,749	7,371
非支配株主に帰属する当期純利益	224	540
親会社株主に帰属する当期純利益	3,525	6,831

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	3,749	7,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,655	186
為替換算調整勘定	△1,735	5,923
退職給付に係る調整額	2,406	1,783
その他の包括利益合計	2,326	7,893
包括利益	6,076	15,265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,973	14,388
非支配株主に係る包括利益	102	877

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,684	12,643	59,444	△25	82,747
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△881		△881
親会社株主に帰属する当期純利益			3,525		3,525
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,643	△0	2,643
当期末残高	10,684	12,643	62,088	△25	85,391

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,232	△3,731	△1,134	△3,633	161	3,493	82,769
当期変動額							
新株の発行							—
剰余金の配当							△881
親会社株主に帰属する当期純利益							3,525
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,653	△1,608	2,403	2,448	△10	△77	2,360
当期変動額合計	1,653	△1,608	2,403	2,448	△10	△77	5,004
当期末残高	2,885	△5,339	1,268	△1,185	151	3,415	87,773

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,684	12,643	62,088	△25	85,391
当期変動額					
新株の発行	23	23			47
剰余金の配当			△1,638		△1,638
親会社株主に帰属する当期純利益			6,831		6,831
自己株式の取得				△58	△58
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	23	23	5,192	△58	5,181
当期末残高	10,708	12,667	67,281	△84	90,573

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,885	△5,339	1,268	△1,185	151	3,415	87,773
当期変動額							
新株の発行							47
剰余金の配当							△1,638
親会社株主に帰属する当期純利益							6,831
自己株式の取得							△58
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	185	5,577	1,794	7,556	△43	420	7,934
当期変動額合計	185	5,577	1,794	7,556	△43	420	13,116
当期末残高	3,070	237	3,063	6,371	107	3,836	100,889

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,023	10,299
減価償却費	11,011	10,174
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	4
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△152	128
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	4
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△577	△52
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	667	△658
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△308	△919
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	1
受取利息及び受取配当金	△338	△381
支払利息	264	202
為替差損益 (△は益)	7	△419
関係会社出資金売却損益 (△は益)	293	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	207
固定資産除売却損益 (△は益)	410	306
売上債権の増減額 (△は増加)	2,618	954
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,084	△4,628
仕入債務の増減額 (△は減少)	△619	△352
未払費用の増減額 (△は減少)	△340	176
その他	141	317
小計	19,197	15,365
利息及び配当金の受取額	326	393
利息の支払額	△263	△199
法人税等の支払額	△1,497	△2,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,761	13,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△728	△94
定期預金の払戻による収入	317	738
固定資産の取得による支出	△6,640	△7,979
固定資産の売却による収入	371	396
投資有価証券の取得による支出	△2	△0
投資有価証券の売却による収入	—	10
貸付けによる支出	△102	△161
貸付金の回収による収入	132	136
その他	△132	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,785	△6,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,161	6,895
短期借入金の返済による支出	△7,933	△10,852
長期借入れによる収入	3,180	8,500
長期借入金の返済による支出	△3,000	△6,380
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	43
自己株式の取得による支出	△0	△58
配当金の支払額	△881	△1,638
非支配株主への配当金の支払額	△263	△201
リース債務の返済による支出	△438	△435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,176	△4,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105	1,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,694	4,381
現金及び現金同等物の期首残高	34,674	44,369
現金及び現金同等物の期末残高	44,369	48,750

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社 27社

テイケイ気化器(株)、愛協産業(株)、アイサン コンピュータ サービス(株)、(株)ニチアロイ、愛三熊本(株)、玄潭産業(株)、玄潭テック(株)、愛三(天津)汽車部件有限公司、愛三(佛山)汽車部件有限公司、愛三貿易(広州)有限公司、沈陽玄潭汽車部件有限公司、泰凱通用化油器(宁波)有限公司、玄潭(張家港)汽車部件有限公司、(株)アイサン ナスモコ インダストリ、アイサン コーポレーション アジア パシフィック(株)、アイサン オートパーツ インディア(株)、アイサン フィエム オートモーティブズ インディア(株)、アイサン セールス インディア(株)、IHDインダストリーズ(株)、フランクリン プレシジョン インダストリー(株)、アイサン コーポレーション オブ アメリカ、ヒョントアン アメリカ(株)、アイサン オートパーツ メキシコ(株)、アイサン インダストリー フランス(株)、アイサン インダストリー チェコ(有)、アイサン コーポレーション ヨーロッパ(株)、ヒョントアン スロバキア(有)

なお、連結子会社であった株式会社中京治具は、2022年3月8日付で清算終了したことにより、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

また、日本超硬株式会社は、2022年1月1日付で株式会社ニチアロイに社名変更しております。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用していない関連会社(1社)は、当期純損益および利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、全体としても重要性がないため、持分法の適用から除いております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、玄潭産業(株)、玄潭テック(株)、愛三(天津)汽車部件有限公司、愛三(佛山)汽車部件有限公司、愛三貿易(広州)有限公司、沈陽玄潭汽車部件有限公司、泰凱通用化油器(宁波)有限公司、玄潭(張家港)汽車部件有限公司、(株)アイサン ナスモコ インダストリ、IHDインダストリーズ(株)、フランクリン プレシジョン インダストリー(株)、アイサン コーポレーション オブ アメリカ、ヒョントアン アメリカ(株)、アイサン オートパーツ メキシコ(株)、アイサン インダストリー フランス(株)、アイサン インダストリー チェコ(有)、アイサン コーポレーション ヨーロッパ(株)、ヒョントアン スロバキア(有)の決算日は12月31日であり、連結決算日(3月31日)と異なっておりますが、決算日の差異が3ヵ月を超えていないため、連結財務諸表の作成にあたっては当該子会社の事業年度の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

収益認識会計基準等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当会計基準の適用による当連結会計年度の連結財務諸表に与える主な影響は以下のとおりであります。なお、営業利益に与える影響はありません。

- ・従来、売上原価として計上していた一部の費用について、当連結会計年度より顧客に支払われる対価として売上高から減額しております。この結果、当連結会計年度の売上高および売上原価はそれぞれ4,745百万円減少しております。
- ・買戻し契約に該当する一部の有償支給取引について、当連結会計年度より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。この結果、当連結会計年度末の棚卸資産が266百万円、流動資産のその他が60百万円、流動負債のその他が327百万円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき会計処理を行っております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち独立した財務情報が入手可能であり、取締役会等の経営決定機関が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に国内および海外の自動車メーカー向けに燃料ポンプモジュール、スロットルボデー、キャニスタ等の自動車部品を国内においては主に当社が、海外においては各国現地法人が、それぞれ製造・販売を行っております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域において事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製造・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」（主に韓国、中国、インドネシア、インド）、「米州」（米国、メキシコ）および「欧州」（チェコ、フランス、ベルギー）の4つを報告セグメントとしております。なお、「日本」セグメントでは、自動車部品の製造・販売他、自動車運送取扱業、土木建設業、コンピュータシステムおよびプログラムの開発・販売等の事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている地域別のセグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	日本	アジア	米州	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	74,099	74,504	22,728	10,094	181,427	—	181,427
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,940	1,044	50	20	17,056	△17,056	—
計	90,040	75,549	22,779	10,115	198,483	△17,056	181,427
セグメント利益又は損失(△)	622	2,771	1,165	△22	4,535	420	4,956
セグメント資産	75,973	66,324	19,828	9,774	171,901	18,017	189,918
その他の項目							
減価償却費	4,977	4,265	1,798	511	11,552	△541	11,011
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	4,238	3,477	1,625	491	9,833	△122	9,711

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額420百万円は、主にセグメント間未実現利益の調整額であります。

(2) セグメント資産の調整額18,017百万円は、当社の現金及び預金、投資有価証券等の全社資産28,988百万円およびセグメント間取引の消去△10,971百万円であります。

(3) 減価償却費の調整額△541百万円は、固定資産に係る未実現損益の実現によるものであります。

(4) 有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額△122百万円は、固定資産に係る未実現損益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	日本	アジア	米州	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	70,445	86,540	25,367	11,398	193,751	—	193,751
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,104	1,311	72	63	19,551	△19,551	—
計	88,550	87,851	25,439	11,461	213,303	△19,551	193,751
セグメント利益	1,838	6,195	1,311	354	9,699	110	9,809
セグメント資産	76,649	69,716	19,938	9,623	175,927	26,008	201,936
その他の項目							
減価償却費	4,089	4,183	1,792	563	10,628	△454	10,174
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	4,310	3,361	1,598	221	9,491	△42	9,449

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額110百万円は、主にセグメント間未実現利益の調整額であります。

(2) セグメント資産の調整額26,008百万円は、当社の現金及び預金、投資有価証券等の全社資産36,516百万円およびセグメント間取引の消去△10,508百万円であります。

(3) 減価償却費の調整額△454百万円は、固定資産に係る未実現損益の実現によるものであります。

(4) 有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額△42百万円は、固定資産に係る未実現損益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「日本」の売上高が4,745百万円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	1,336円78銭	1,539円63銭
1株当たり当期純利益	55円97銭	108円40銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	108円34銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当連結会計年度末 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	87,773	100,889
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	3,567	3,944
(うち新株予約権(百万円))	(151)	(107)
(うち非支配株主持分(百万円))	(3,415)	(3,836)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	84,206	96,944
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(千株)	62,991	62,966

(2) 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,525	6,831
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,525	6,831
普通株式の期中平均株式数(千株)	62,991	63,017
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	34
(うち新株予約権(千株))	(—)	(34)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権 5種類 (2015年6月12日決議 1,470個 2016年6月14日決議 1,580個 2017年6月13日決議 2,380個 2018年6月13日決議 3,200個 2019年6月13日決議 3,130個)	新株予約権 2種類 (2017年6月13日決議 1,970個 2018年6月13日決議 2,220個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,055	26,319
電子記録債権	3,388	3,603
売掛金	16,241	14,128
有価証券	1,484	4,484
製品	1,773	1,919
仕掛品	2,168	2,736
原材料及び貯蔵品	873	873
前渡金	2,867	2,665
前払費用	68	54
その他	2,895	4,058
流動資産合計	53,818	60,845
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,990	8,338
構築物	798	794
機械及び装置	7,199	6,912
車両及び運搬具	31	38
工具、器具及び備品	803	829
土地	5,680	5,749
リース資産	156	114
建設仮勘定	609	552
有形固定資産合計	23,269	23,329
無形固定資産		
借地権	28	28
ソフトウェア	384	318
リース資産	41	26
その他	19	18
無形固定資産合計	473	390
投資その他の資産		
投資有価証券	4,512	4,532
関係会社株式・出資金	34,758	34,966
長期貸付金	35	44
長期前払費用	186	143
繰延税金資産	5,944	5,426
前払年金費用	4,765	5,672
その他	106	103
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	50,278	50,859
固定資産合計	74,021	74,578
資産合計	127,840	135,423

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	19	15
電子記録債務	2,222	2,519
買掛金	8,127	7,780
関係会社短期借入金	1,805	2,559
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	6,245	2,111
リース債務	81	78
未払金	874	821
未払費用	5,507	5,726
未払法人税等	142	164
預り金	124	113
製品保証引当金	930	977
役員賞与引当金	41	50
その他	940	660
流動負債合計	27,063	33,581
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	19,111	25,500
リース債務	153	89
退職給付引当金	13,011	13,135
資産除去債務	34	34
その他	8	8
固定負債合計	42,319	38,769
負債合計	69,383	72,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,684	10,708
資本剰余金		
資本準備金	12,686	12,710
資本剰余金合計	12,686	12,710
利益剰余金		
利益準備金	1,468	1,468
その他利益剰余金		
別途積立金	16,110	16,110
繰越利益剰余金	14,514	19,005
利益剰余金合計	32,093	36,584
自己株式	△25	△84
株主資本合計	55,439	59,919
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,866	3,046
評価・換算差額等合計	2,866	3,046
新株予約権	151	107
純資産合計	58,457	63,073
負債純資産合計	127,840	135,423

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)	当事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)
売上高	83,138	80,996
売上原価	76,195	73,036
売上総利益	6,943	7,959
販売費及び一般管理費	6,668	6,879
営業利益	274	1,080
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,790	5,294
為替差益	320	447
その他	520	354
営業外収益合計	3,631	6,096
営業外費用		
支払利息	51	52
固定資産除売却損	289	223
関係会社出資金売却損	375	—
関係会社株式評価損	273	—
その他	11	22
営業外費用合計	1,001	298
経常利益	2,904	6,878
特別利益		
新株予約権戻入益	36	44
特別利益合計	36	44
税引前当期純利益	2,941	6,922
法人税、住民税及び事業税	315	362
法人税等調整額	△105	430
法人税等合計	209	793
当期純利益	2,731	6,129

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	10,684	12,686	12,686	1,468	16,110	12,664	30,243
当期変動額							
新株の発行							
剰余金の配当						△881	△881
当期純利益						2,731	2,731
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,849	1,849
当期末残高	10,684	12,686	12,686	1,468	16,110	14,514	32,093

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△25	53,589	1,227	1,227	161	54,978
当期変動額						
新株の発行		—				—
剰余金の配当		△881				△881
当期純利益		2,731				2,731
自己株式の取得	△0	△0				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			1,639	1,639	△10	1,629
当期変動額合計	△0	1,849	1,639	1,639	△10	3,478
当期末残高	△25	55,439	2,866	2,866	151	58,457

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	10,684	12,686	12,686	1,468	16,110	14,514	32,093
当期変動額							
新株の発行	23	23	23				
剰余金の配当						△1,638	△1,638
当期純利益						6,129	6,129
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	23	23	23	—	—	4,491	4,491
当期末残高	10,708	12,710	12,710	1,468	16,110	19,005	36,584

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△25	55,439	2,866	2,866	151	58,457
当期変動額						
新株の発行		47				47
剰余金の配当		△1,638				△1,638
当期純利益		6,129				6,129
自己株式の取得	△58	△58				△58
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			179	179	△43	136
当期変動額合計	△58	4,480	179	179	△43	4,616
当期末残高	△84	59,919	3,046	3,046	107	63,073

2021年度 決算概要

2022年4月27日

愛三工業株式会社

決算のポイント

- ・売上高は、半導体の供給不足などによる自動車生産への影響を受けたが、前年比で増収。
- ・営業利益は、売上増加と損益分岐点売上高の改善活動成果により前年比で増益。
- ・次期業績予想は、半導体の供給不足や原材料の高騰などの影響が懸念されるものの、販売数量の増加により売上高、営業及び経常利益、当期純利益ともに増収増益の見通し。

1. 連結業績

単位：百万円

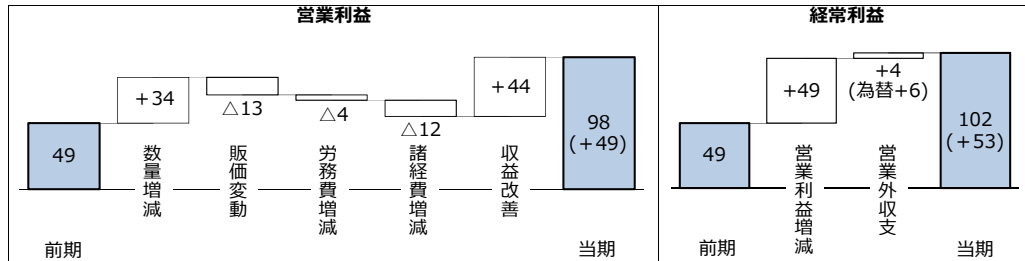
		2020年度 (2020/4~2021/3)		2021年度 (2021/4~2022/3)		増減	増減率
売上高		(100.0)	181,427	(100.0)	193,751	12,324	6.8%
営業利益		(2.7)	4,956	(5.1)	9,809	4,853	97.9%
経常利益		(2.7)	4,986	(5.3)	10,255	5,268	2.1倍
当期純利益		(1.9)	3,525	(3.5)	6,831	3,305	93.7%
為替レート	1~12月	USドル(円)	107	110	[3円 円安]		
		ユーロ(円)	122	130	[8円 円安]		
4~3月	USドル(円)	106	112	[6円 円安]			
	ユーロ(円)	124	131	[7円 円安]			
1株当たり当期純利益(円)			55.97	108.40	52.43	93.7%	
連結子会社数			28社	27社	[△1社]		

(注1) ()内は売上高比率です

(注2) 当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します

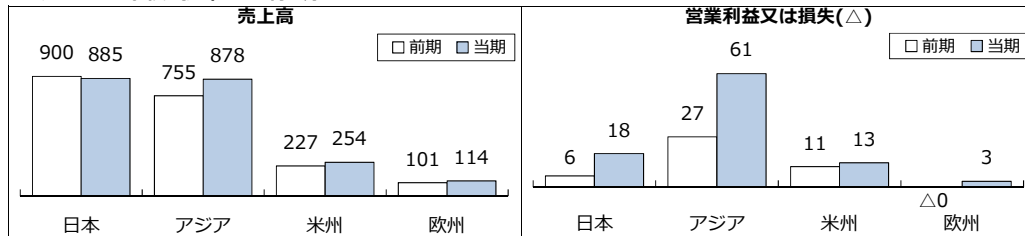
2. 利益の増減要因 (対前年比)

単位：億円



3. 所在地別業績 (連結調整除く)

単位：億円



4. 次期の連結業績予想

単位：百万円

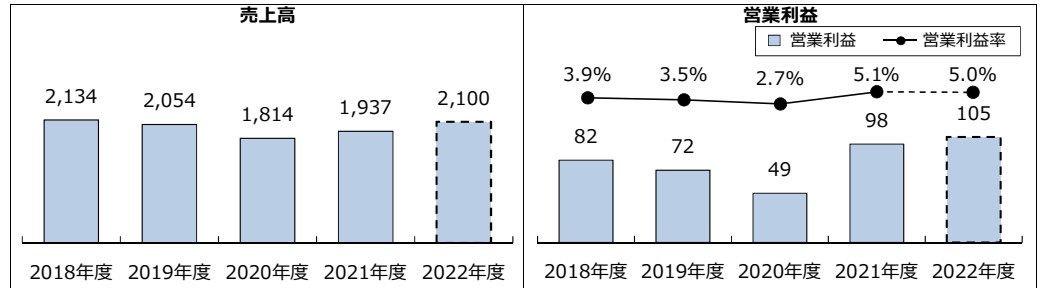
		2021年度 (2021/4~2022/3)		2022年度 (2022/4~2023/3)		増減	増減率
売上高		(100.0)	193,751	(100.0)	210,000	16,248	8.4%
営業利益		(5.1)	9,809	(5.0)	10,500	690	7.0%
経常利益		(5.3)	10,255	(5.0)	10,500	244	2.4%
当期純利益		(3.5)	6,831	(3.3)	7,000	168	2.5%
為替レート	USドル(円)		112	115	[3円 円安]		
	ユーロ(円)		131	125	[6円 円高]		
1株当たり当期純利益(円)			108.40	111.17	2.77	2.6%	

(注1) ()内は売上高比率です

(注2) 当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示します

5. 連結業績推移

単位：億円



6. 連結売上高明細

単位：百万円

		2020年度 (2020/4~2021/3)		2021年度 (2021/4~2022/3)	
		金額	構成比	金額	構成比
自動車部品	燃料系製品	74,392	41.0%	80,216	41.4%
	燃料ポンプモジュール	68,846	37.9%	73,946	38.2%
	インジェクタ	2,939	1.6%	3,287	1.7%
	その他	2,606	1.5%	2,982	1.5%
	吸排気系製品	53,311	29.4%	57,761	29.8%
	スロットルボデー	34,398	19.0%	35,833	18.5%
	EGRバルブ	12,729	7.0%	14,852	7.7%
	その他	6,183	3.4%	7,075	3.6%
	排出ガス制御系製品	32,894	18.1%	32,354	16.7%
	キャニスタ	27,833	15.3%	27,488	14.2%
その他	5,061	2.8%	4,866	2.5%	
動弁系製品(エンジンバルブ)	8,110	4.5%	8,906	4.6%	
その他の自動車部品	6,265	3.4%	6,984	3.6%	
小計	174,974	96.4%	186,224	96.1%	
その他	6,452	3.6%	7,526	3.9%	
合計	181,427	100.0%	193,751	100.0%	

7. 財務指標の推移

単位：億円

単位：億円

